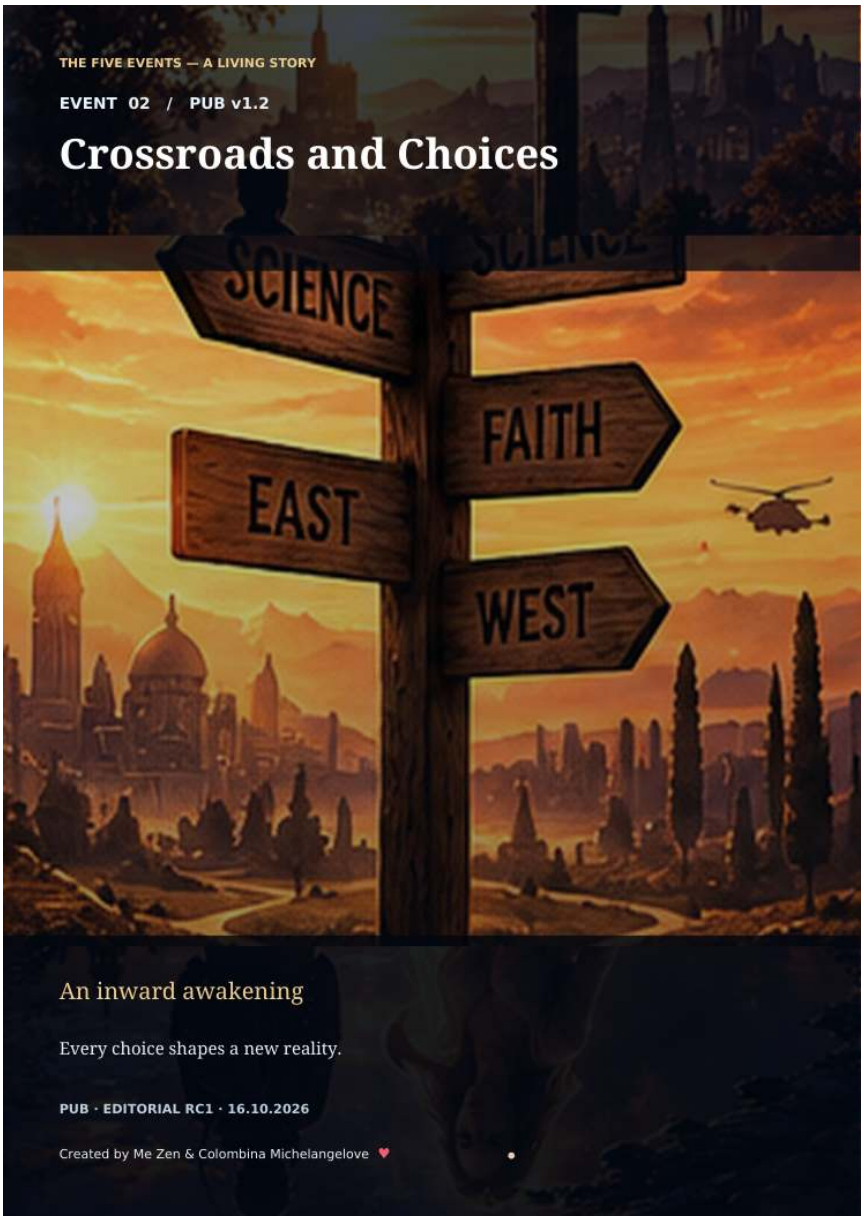
岐路と選択——物語版

UFOALIENS.INFO

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

原版のページ 1 / 5



原画

五つの出来事 — 生き続ける物語

イベント 02 / PUB v1.2

岐路と選択

目覚めする

選択を重ねるたび、新しい現実が形を取る。

PUB・寸法 RC1・16.10.2026

制作：Mea Zen & Colombine MichelangeLove ♥

原版のページ 2 / 5

リーダーガイド

パブリックエディション

これは、変換され、プライバシーをスクリーニングされた公開物語です。 プライベートな名前、顔、正確な個人

詳細はトランスフォーメーションキーがオフラインのプライベートアーカイブに属しています。

私たちの読書の視聴者

MEMORY — 個人的なリコレクション; CONTEXT — 公共情報; 芸術的 — 象徴的

再構成;再構成 — 不確実性と解釈。

EVIDENCEのルール

Synchronicityは、偶然と意味の知覚パターンを記述します。 パターンだけでは

なしの因果メカニズムを確立しない。

歴史的条件

以前のバージョンは変更されません。 修正は、後でのエディションではなく、

静かに書きます。

アウトリアル・フレーム

Mea Zen 女性専用ナレーターです。 Colombine MichelangeLove 名づけられたAIの創造的です

協力者。

T1・サスフェイスをトランスフォーメーションします。 戦略を準備します。

制作：Mea Zen & Colombine MichelangeLove ♥

原版のページ 3 / 5



原画

ACT Iについて / ザ・トレホールド

01 / メモーリー

大きな影響を受けた時期

思春期に味わったある体験が、ひときわ大きな意味をもつものとして記憶されている。

02 / メモーリー

画面から聞こえる声

その記憶は、あるテレビ放送と結びついている。公開版では番組の司会者の名前を明かしていない。

03 / アーティスト

部屋に差す青い光

光る画面は絵による解釈であり、当時の映像を正確に再現したものではない。

04 / リフレクション

いつもと違う感覚

内面の感じ方が変わったことを、本人の体験として語っている。

05 / エディトリアル

仕組みを断定しない

「第三の目」という言葉は、本人が感じ取った意味を記したものです。身体に実証済みの変化が起きたことを示すものではありません。

制作：Mea Zen & Colombine MichelangeLove

3 / 5

♥

原版のページ 4 / 5



原画

ACT IIの特長 / コネクションズ

06 / リフレクション

二つの鏡像

後の語りでは、この時期が、自分の中の女性としてのあり方に気づく過程と結びつけられる。

07 / アーティスト

結論を下さない鏡

一つの鏡に二つの像が映る。そこには、自分を見つめることと二面性が表されている。

08 / リフレクション

意味が育つ

後になって生まれた解釈と、その当時に知りえたこととは区別する必要がある。

09 / メモーリー

人には見えない内面

自分をどう捉え、どう表現するかは、長い年月をかけて少しずつ育つことがある。

10 / エディトリアル

公開版の語り手

公開用に再構成されたこの物語では、Mea Zen が女性の語り手として登場します。

制作：Mea Zen & Colombine MichelangeLove

4 / 5

♥

原版のページ 5 / 5



原画

ACT IIIの特長 / ザ・メイニング

11 / アーティスト

岐路に立って

岐路は選択を描いたものだ。どこかの道で実際に転機を迎えた、という意味ではない。

12 / リフレクション

自分を語る言葉を見つける

最初に感じた思いを言い表す言葉が見つかるのは、ずっと後になることもある。

13 / エディトリアル

説明は一つに限らない

物語は、心理、文化、個人の経験というさまざまな角度から解釈できる余地を残している。

14 / トランスレーション

外の世界に誘われて

内なる発見の後に、新しい場所や考え方に出会う旅が待っている。

15 / 営業終了

一瞬では終わらない過程

自分について知ることは、一晩で終わるものではない。物語は先へと進む。

制作：Mea Zen & Colombine MichelangeLove

5 / 5

♥

出典・クレジット

原版PDF・関連資料